



投資環境

2024年12月20日

日銀、12 月会合では利上げを見送り

▣ 3 会合連続の据え置き

日本銀行は、12 月 18、19 日に開催した金融政策決定会合で、政策金利である無担保コール翌日物レートの誘導目標を 0.25%で据え置きました。7 月の会合で政策金利を 0.25%に引き上げて以来、3 会合連続の据え置きとなりました。

タカ派として知られる田村審議委員は、経済・物価の見通しに沿って推移するなか、物価上振れリスクが膨らんでいることを理由に、0.5%への利上げを提案しましたが、反対多数で否決されました。

▣ 市場では、来年 1 月の利上げ観測が後退

会合後の記者会見にて、植田総裁は、利上げを見送った理由として、来年の春闘での賃上げ動向に関する情報の必要性や、米国のトランプ新政権下での経済政策やその影響を巡る不確実性を挙げました。また、春闘のモメンタムについて大きな姿がわかるのは、3、4 月のタイミングになるとの発言から、市場では来年 1 月の利上げ観測が後退しました。

主な発言は以下の通りです。

- 経済・物価の指標はおおむね見通し通りに沿って推移している。
- 賃金・物価の好循環の強まりを確認するために、来年の春闘に向けた賃金動向についてもう少し情報が必要と考えた。また、米国の次期政権の経済政策を巡る影響も見極める必要がある。
- 次の利上げの判断に至るまでには、もう 1 ノッチ（段階）ほしい。そこには賃金上昇の持続性も含まれる。
- 春闘のモメンタムについて、大きな姿がわかるのは 3、4 月のタイミングになる。
- 現時点で、輸入物価の上昇は落ち着いている。それを考慮に入れたうえで、為替の物価見通しへの影響を判断していく。
- 利上げをするタイミングが遅れるほど、ペースは結果的に早くならざるをえない点は意識している。
- 基調的物価上昇率やインフレ期待の動きが 2%と整合的なところまではもう少し距離があるなかでゆっくりしていることが、政策金利の調整の余裕を生んでいる理由でもある。

(エコノミスト 北辻 宗幹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。